

日本提案による高齢者や障がい者に配慮したカードの国際標準が発行される  
— ISO/IEC 12905: Integrated circuit cards – Enhanced terminal accessibility using  
cardholder preference interface —

平成23年9月20日  
経済産業省産業技術環境局  
情報電子標準化推進室

高齢者や障がい者が安心してカードを使えることを目指して日本から提案し、日本が主導して審議を進めてきた規格「ICカード — カード所持者に適合したインタフェースによる端末利用アクセシビリティの向上」が、国際標準ISO/IEC 12905として2011年7月15日に発行されました。

1. 本規格は、ICカード等に格納する各個人の望むマンマシンインタフェースに関するユーザ支援情報を規定しています。利用する端末は、ICカードからユーザ支援情報を読み取り、個別操作することなく、端末の持っている機能を用いてユーザインタフェースが最適なものとなるように自動設定することが出来ます。
2. この国際標準化活動は、当省の国際標準開発事業の1テーマとして、2007年から社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会に委託して実施してきたものです。規格案の作成から、国際標準化委員会への提案や国際審議なども、日本が主導して進めてきました。審議の過程では、(財)共用品推進機構や欧州標準化委員会 (CEN) など、内外の数多くの団体や関係機関と連携し、ご支援を得ています。
3. 本規格を採用した場合、様々な効果が期待されます。例えば、カード利用者自身が操作する端末を利用する場合、端末の画面をより見やすく、音声ガイダンスをより聞こえやすくすることを望むことがあります。カード内の支援情報を端末が読み取り、より見やすくするために大きな文字で表示したり、より聴きやすくするために、ゆっくりと大きな音声で案内することなどが出来ます。カードを利用する端末にこの技術が採用されると、端末操作のバリアフリー化が図られ、各種生活場面に於いて、高齢者や障がい者の端末利用が促進される効果が期待できます。

(本発表資料のお問い合わせ先)

産業技術環境局 情報電子標準化推進室

担当者： 後藤、山中

電話：03-3501-1511 (内線 3428)

03-3501-9287 (直通)

## <補足資料>

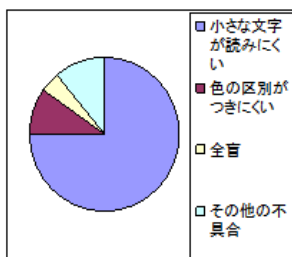
### 高齢者・障害者への配慮の 必要性と制定の趣旨

「カード端末利用時のアクセシビリティの向上」  
の国際規格化  
(ISO/IEC 12905 Enhanced Terminal Accessibility (ETA)  
using cardholder preference interface)

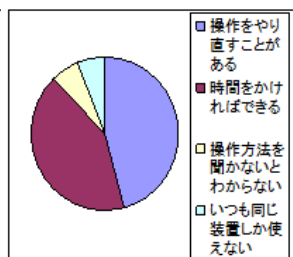
#### 障がい者のカード端末利用時の課題

平成20年度に実施したアンケートにより、障がい者のカード端末利用  
において、次のような課題が明らかになりました。

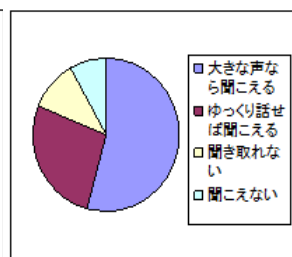
色覚の特性について



操作スピードについて



音声について



障がい者のみならず、年齢を重ねるにつれて上記と同じような状況となり、  
何らかの対応が必要になると考えられます。

## アンケート結果からの要望

1. 端末のディスプレイの文字を読みやすいように、もう少し大きくしてほしい。
2. 端末のディスプレイの文字とバックグラウンドのコントラストを高くしてほしい。
3. 端末の音声ガイドやビープ音の音量を大きくしてほしい。
4. 操作のスピードを配慮してほしい。

その他の要望  
「端末を母国語で利用したい」等

## 規格化に対する配慮

国際規格制定作業では、次のような方針を立てました。

1. カードを端末に入れるだけで簡単に端末が使いやすいものとなるようにする。
2. 支援情報は、様々な要望に応えることができるものとする。
3. 高齢者、障がい者だけではなく、すべての人にも便利なものとする。
4. 国内だけではなく、国外でも利用可能とする。

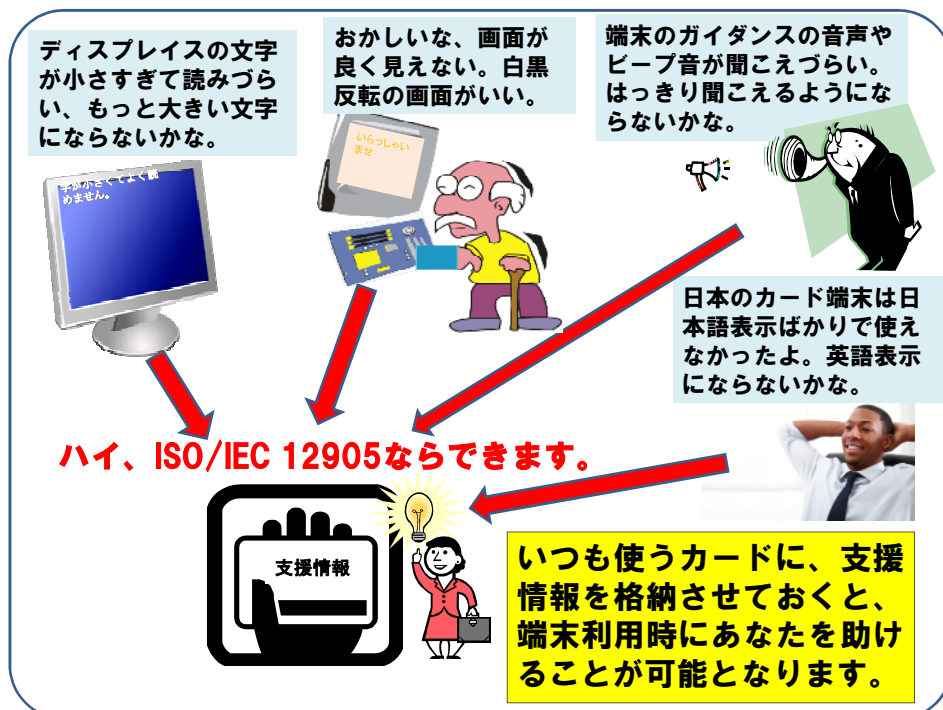
## 国際規格化

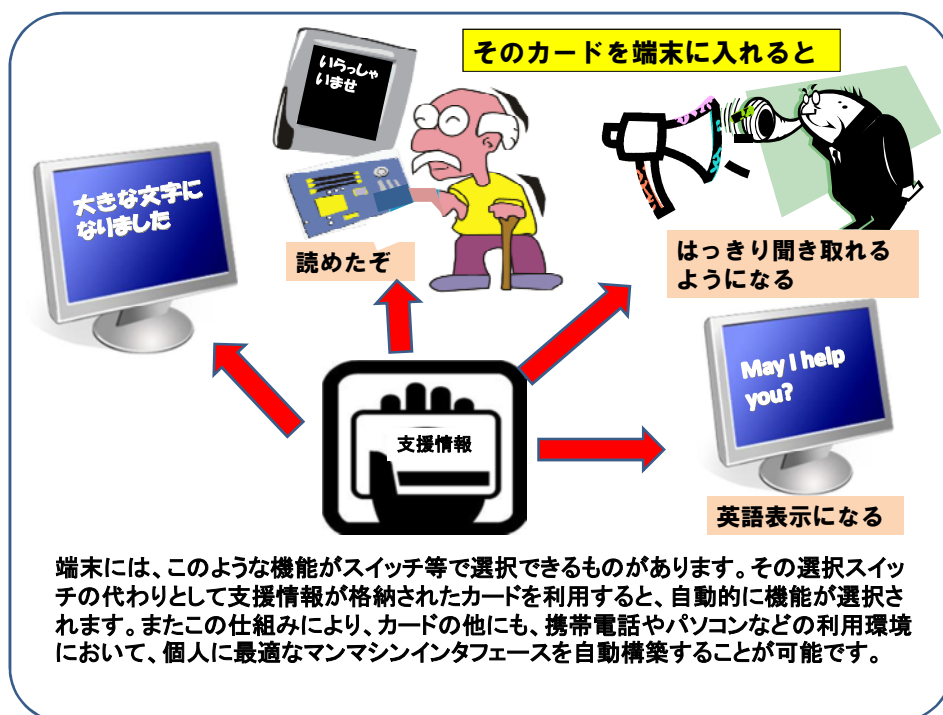
「アンケート結果の要望」及び「規格化の配慮」を元に国際規格としてまとめられたものが、ISO/IEC 12905 Enhanced Terminal Accessibility (ETA) using cardholder preference interface 「カード端末利用時のアクセシビリティの向上」です。

この国際規格には例ば、次のような支援情報があります。

- 表示書体サイズ、色、コントラスト、明るさ
- 音声などの音量、音声周波数
- 操作速度
- 利用者の理解できる言語

次に、これらの利用例を示します。





## 関係者への要望

- 今回、障がい者からの要望に基づき規格化が先行しましたが、この国際規格ISO/IEC 12905 (ETA)を利用できる環境を整えるため、この規格を多くの方に認知していただくと共に、ETAを具備したカードの発行と、利用できる端末の整備を、関連業界が協力して推進することが期待されます。